

## II 診療実績

### 1. 内科

特任副院長・内科部長 瀬口 雅人

地域の中核病院の自覚を持って、プライマリケア、救急診療を中心に各自の専門領域を生かし、地域に高度な医療を提供するために、内科一丸となって、頑張っています。また将来の医療を担う人材を育てるために、臨床研修病院としても頑張ってきましたが、2017年度は初期研修医5人、後期研修医2人の近年にない大所帯となる見込みです。若いスタッフの増員は病院の活性化にも繋がり、喜ばしい限りです。

疾病・術式・検査名 (H28)

#### 透析センター

新規血液透析導入患者数	17名
糖尿病性腎症	11名
慢性糸球体腎炎	4名
悪性高血圧症	1名
不明	1名
急性血液浄化療法施行患者数	4名
	(計17回)
転入血液透析患者数	4名
転出血液透析患者数	4名
腎移植施行血液透析患者数	1名
内シャント関連手術件数	18件
自己血管AVF新規作成	17件
自己血管AVF再建	1件
内シャントPTA(経皮的血管拡張術)	32件

疾病・術式・検査名 (H28)

単位：件

**代謝・内分泌領域**

糖尿病教育入院	160
---------	-----

**循環器内科領域**

心臓 MRI	109
冠動脈 CT	163
冠動脈 MRA	53
心臓カテーテル検査	216
経皮的冠動脈形成術	143
経皮的末梢動脈形成術	7
恒久的ペースメーカー植込術	15
ジェネレーター交換	3
急性心筋梗塞	26

**消化器内科領域**

C型肝炎-肝硬変（遺伝子型Ⅰ型）に対する経口ウイルス治療薬投与	29
C型肝炎-肝硬変（遺伝子型Ⅱ型）に対する経口ウイルス治療薬投与	13
B型肝炎-肝硬変に対する経口ウイルス治療薬投与	39
肝臓に対する肝動脈塞栓術（動注化学療法を含む）	3
消化器癌（肝臓以外）化学療法	10

**血液内科領域（新規入院患者のみ）**

悪性リンパ腫	17
骨髄異型性症候群	10
多発性骨髄腫	9
急性骨髄性白血病	2
急性リンパ性白血病	1
自己免疫性溶血性貧血	2
特発性血小板減少性紫斑病	1
その他血液疾患	4

## 2. 総合外科・消化器外科

特任副院長・外科部長 曾我直弘

2016年は4月から6月まで山根医師の他病院への出向があり、常勤医4人体制となりましたが、7月には復帰し再び5人体制で診療を行いました。

2016年1月から12月の手術症例数は328例でした、この10年で最も多い症例数です。腹腔鏡治療は113例で1/3以上は腹腔鏡での治療になっています。乳腺甲状腺疾患も60症例手術を施行しています。

学会資格ですが、藤田医師が新たに日本消化器内視鏡学会専門医を取得できました。藤田先生のたゆまぬ努力は素晴らしく賞賛に値すると思います。私自身も遅ればせながら日本消化器外科学会指導医となりました。

大学の派遣医師確保の問題もあり、本号が上梓されるころには、5人体制から3人体制に減員となります。いままで2年間勤務して頂いた、山根先生、八田先生、宮島先生には感謝致します。2017年4月より、宮島先生と交代で澤先生が常勤医として就業致します。

常勤医師3人体制での診療体制となりますが、甲状腺、乳腺外科での非常勤医師の八代先生、青山先生、堀内先生は変わらず勤務し応援して頂いています。

現在のクオリティは落とさずに診療していきたいと考えております。

### 疾病・術式・検査 (H28)

単位：件

<b>胃、十二指腸</b>	<b>22</b>
胃癌 幽門側胃切除	7
胃癌 胃全摘術	8
胃癌 内視鏡的粘膜下層剥離術	5
十二指腸潰瘍穿孔 開腹単純閉鎖術	2
<b>小腸</b>	<b>12</b>
腸閉塞 腹腔鏡下イレウス解除術	1
腸閉塞 イレウス解除術（腸管切除あり）	5
腸閉塞 イレウス解除術（腸管切除なし）	4
腸穿孔/壊死 小腸部分切除術	2
<b>虫垂</b>	<b>32</b>
急性虫垂炎 腹腔鏡下虫垂切除術	31
急性虫垂炎 開腹虫垂切除術	1

疾病・術式・検査 (H28)

単位：件

<b>大腸</b>	<b>49</b>
結腸癌 開腹結腸切除	20
結腸癌 腹腔鏡補助下結腸切除	8
直腸癌 開腹直腸切除	12
直腸癌 腹腔鏡補助下直腸切除	2
直腸癌 経肛門的切除術	1
大腸穿孔 結腸切除術	4
人工肛門造設後 人工肛門閉鎖術	2
<b>胆嚢</b>	<b>58</b>
胆嚢結石症（胆嚢炎） 腹腔鏡下胆嚢摘出術	54
胆嚢結石症（胆嚢炎） 開腹胆嚢摘出術	1
胆嚢ポリープ 腹腔鏡下胆嚢摘出術	1
胆管結石症 開腹胆嚢摘出術+胆管切石術	2
<b>膵、胆管</b>	<b>2</b>
乳頭部癌および膵頭部癌 亜全胃温存膵頭十二指腸切除術	2
<b>肝臓</b>	<b>1</b>
原発性および転移性肝臓癌 肝切除術	1
<b>ヘルニア</b>	<b>66</b>
鼠経ヘルニア 前方アプローチによる根治術	40
鼠経ヘルニア TEP 法または TAP 法	16
大腿ヘルニア 根治術	4
腹壁癒痕ヘルニア 腹腔鏡下根治術	2
腹壁癒痕ヘルニア 開腹根治術	1
臍ヘルニア 根治術	1
閉鎖孔ヘルニア 根治術	1
会陰ヘルニア 根治術	1

疾病・術式・検査 (H28)

単位：件

<b>肛門</b>	<b>4</b>
痔核 結紮切除術	2
痔瘻 根治術	1
肛門ポリープ 切除術	1
<b>乳腺</b>	<b>30</b>
乳癌 乳房切除+リンパ節郭清	15
乳癌 乳腺部分切除+リンパ節郭清	9
乳腺腫瘍 腫瘍摘出術	6
<b>甲状腺</b>	<b>30</b>
甲状腺腫瘍 全摘術	18
甲状腺腫瘍 右または左葉切除術	10
甲状腺腫瘍 リンパ節郭清	1
甲状腺機能亢進症 摘出術	1
<b>体表</b>	<b>14</b>
リンパ節腫脹 リンパ節生検	6
体表腫瘍 腫瘍摘出術または切開排膿	3
化学療法または短腸症候群 皮下埋め込み型カテーテル挿入	5
<b>その他</b>	<b>8</b>
<b>合 計</b>	<b>328</b>

### 3. 小児科

小児科部長 恩田真弓

小児科の特徴である急性呼吸器感染症、消化器感染症が外来の多数を占めていました。ロタウィルスワクチンが開始されロタウィルス胃腸炎の減少が期待されましたが、2015 冬以降明らかに減少し、同疾患に伴う脱水症、痙攣発作などで入院する例は大幅に減少しています。2016 秋から 2017 春にかけて Influenza がまた流行しました。当科では幸い脳症など重篤な合併症をきたした患児はいませんでした。今シーズンは、秋からマイコプラズマ肺炎が流行し、耐性菌による感染が多く認められました。

予防接種では、1 回に接種出来る種類が増え、インターバルも変更になるなど多少混乱が続きましたが、順調に接種出来ています。2014 から水痘が定期接種になり、2 度接種になりました。2 度接種になるに従い感染数は減少しました。

子宮頸癌予防ワクチンが開始され、一時的に接種が見合わされました。現在接種可能となっていますが今年度も接種者もいませんでした。

インフルエンザワクチンは積極的に奨励していますが、まだまだ接種する方が少なく残念です。1 歳未満の赤ちゃん、高齢者、受験生のいるご家族などは家族ぐるみで接種をしていただきたいものです。妊娠中の方にも必要です。

B 型肝炎ワクチンは定期接種になりましたが、対象年齢から漏れる方にも接種していただくよう指導しています。

アレルギー性疾患は、喘息をはじめ罹患児は多数来院されます。近年抗アレルギー剤の進歩に伴って喘息のコントロールは良好な経過をたどるようになりました。今年も重症の発作をきたした例は当院では有りませんでした。

2012 より筑波メディカルセンター病院小児科の T-PAN (筑波小児アレルギーネットワーク) に参加し、アレルギー疾患でもメディカルセンター小児科とも連携し診療にあたっています。

2016 春から林大祐医師が常勤で入職し、8 月に稲見医師が退職しました。

予 防 接 種 (H28)

単位：件

BCG	100
B 型肝炎	247
アクトヒブ R (インフルエンザ桿菌)	129
ムンプス (流行性耳下腺炎：おたふく風邪)	35
水痘 (水ぼうそう)	181
MR (麻疹、風疹)	192
インフルエンザ	715
二種混合	39
三種混合	0
日本脳炎	305
子宮頸がん	0
肺炎球菌	83
<b>合 計</b>	<b>2,026</b>
<b>乳児健診</b>	<b>130</b>

#### 4. 内視鏡科

術式・検査 (H28)

単位：件

内視鏡	上部消化管（人間ドックを含む）	3,352
内視鏡	下部消化管（人間ドックを含む）	1,208
内視鏡	膵胆管造影（内視鏡的十二指腸乳頭切開術を含む）	41
	経皮的内視鏡的胃瘻造設術	20
合 計		4,621

## 5. 脳神経外科

副院長・脳神経外科部長 竹下 幹彦

当院の脳神経外科は、頭部外傷、くも膜下出血や脳内出血、脳梗塞などの脳血管障害や脳腫瘍の診断・治療を行っております。脳内血腫に対し血腫除去術を、破裂動脈瘤に対し開頭によるクリッピング術や血管内治療(コイル充填術)も行っております。未破裂脳動脈瘤で手術適応のある方には同様の治療も行っております。また、発症 4.5 時間以内の脳梗塞患者様には、t-PA による積極的な治療およびその後の脳梗塞に対する治療と共に、適応のある患者様には脳主幹動脈閉塞による脳梗塞急性期患者の血管内治療(血栓回収術)も行っております。脳卒中後等の片麻痺や失語症に対するリハビリテーションを行うと共に、茨城県南地域脳卒中連携パスの運用も行っております。また、適応のある患者様には頸部内頸動脈狭窄症に対する血管内治療(ステント留置術)や慢性脳虚血患者に対する浅側頭動脈—中大脳動脈吻合術も行っております。脳動脈瘤コイル充填術、ステント留置術、浅側頭動脈—中大脳動脈吻合術等は大学の脳血管障害グループの協力の協力を得て行っております。

### 術式・検査 (H28)

単位：件

脳腫瘍	開頭摘出術	8
	経蝶形骨洞手術	0
脳血管障害	破裂脳動脈瘤	8(*4)
	未破裂脳動脈瘤	5
	頸部内頸動脈ステント留置術	6
	脳動静脈奇形	3(*1)
	高血圧性脳内出血	11
	血栓回収術	5(*5)
	浅側頭動脈—中大脳動脈吻合術	2
外傷	急性硬膜外血腫	1
	急性硬膜下血腫	1
	慢性硬膜下血腫	25
水頭症	脳室シャント術	4
その他		6
合計		85

(\*血管内手術)

## 6. 整形外科

副院長・整形外科部長 梅原 新英

2016年の手術件数は2015年より38件増加し、489件でした。常勤医は4名でしたが、2017年には5、6名に増える見込みです。今後も骨折など外傷に対する治療が主体となりますが、専門外来として『股関節外来』、『脊椎外来』、『膝関節外来』、『肩関節外来』、『スポーツ整形外来』を開いており、整形外科の幅広い分野に対応していきます。

### 術式 (H28)

単位：件

#### 外傷

四肢・骨盤骨折	骨折観血的手術、関節内骨折観血的手術	217
四肢・骨盤骨折	人工骨頭挿入術	43
偽関節手術		5
関節脱臼	観血的整復術	7
関節脱臼	非観血的整復術	12
開放骨折・挫創など	デブリードマン、縫合	4
腱断裂（アキレス腱断裂含む）	腱縫合術、腱移行術	12
	小計	300

#### 関節手術

膝半月板損傷	半月板切除術・縫合術（関節鏡視下）	9
関節内遊離体（膝、肘、足関節）	関節鼠摘出術（関節鏡視下）	1
膝関節炎など	滑膜切除術（関節鏡視下）、化膿性関節炎清掃術	7
肩腱板断裂手術（関節鏡視下）		4
変形性股関節症	人工股関節置換術、再置換術	21
リウマチ性膝関節症	人工股関節置換術、再置換術	1
変形性膝関節症	人工膝関節置換術、再置換術	7
変形性膝関節症	高位脛骨骨切り術	2
	小計	52

## 術式 (H28)

単位：件

## 脊椎手術

頰椎症性脊髄症、頰椎椎間板ヘルニア、頰髄損傷など	椎弓形成術	4
環軸椎脱臼・骨折	体外式脊椎固定術	1
腰部脊柱管狭窄症	椎弓切除術	2
腰部脊柱管狭窄症、腰椎分離過り症など	脊椎固定術	6
腰椎椎間板ヘルニア	椎間板切除術（鏡視下含む）	5
椎体骨折・偽関節	経皮的椎体形成術	1
	小計	19

## その他

骨腫瘍	切除術	1
軟部腫瘍、ガングリオン、滑液包	摘出術	9
ばね指、ドゥケルバン病	腱鞘切開術	22
肘部管症候群	神経移行術	1
手根管症候群	手根管開放術	5
閉塞性動脈硬化症、糖尿病性壊疽など	切断術、断端形成術	12
骨折手術後など	骨内異物除去術	56
その他		12
	小計	118

## 合 計

489

## 7. 形成外科

形成外科医長 平野 由美

形成外科一般を対象。創傷治癒の観点で傷をきれいにすることを心がけています。

### 術式・検査 (H28)

単位：件

癒痕拘縮形成手術（顔面）	1
癒痕拘縮形成手術（その他）	3
分層植皮術（100点以上200点未満）	1
分層植皮術（200点以上）	2
鼻骨骨折整復固定術	7
皮弁作成術・移動術・切断術・遷延皮弁術（25cm <sup>2</sup> 未満）	1
皮弁作成術・移動術・切断術・遷延皮弁術（100cm <sup>2</sup> 以上）	1
皮膚切開術（長径10cm未満）	5
皮膚切開術（長径10cm以上20cm未満）	2
皮膚悪性腫瘍切除術（単純切除）	10
皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術（露出部）（長径3cm未満）	5
皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術（露出部以外）（長径3cm未満）	1
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径6cm以上）	5
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径3cm未満）	47
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径3cm以上、6cm未満）	47
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径4cm以上）	12
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径2cm未満）	69
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径2cm以上、4cm未満）	91
断端形成術（指）	1
創傷処理（筋肉、臓器に達しないもの）（長径5cm未満）	6
全層植皮術（25点未満）	4
全層植皮術（25点以上100点未満）	6
先天性耳瘻管摘出術	2

## 術式・検査 (H28)

単位：件

小児創傷処理 (6歳未満) (筋肉、臓器に達しないもの (長径 2.5cm 以上 5cm 未満))	1
耳介腫瘍摘出術	1
四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術	28
眼瞼下垂症手術 (眼瞼挙筋前転法)	5
眼瞼下垂症手術 (その他のもの)	6
陥入爪手術 (簡単なもの)	11
デブリードマン	3
ガングリオン摘出術	6
レーザー	2
副耳切除術	1
血管縫合術	1
異物摘出術	2
大伏在静脈抜去術	23
耳介形成術	2
下肢静脈瘤 (その他)	64
<b>合 計</b>	<b>485</b>

## 8. 泌尿器科

特任副院長・泌尿器科部長 松木 克之

当科は尿路（腎臓・尿管・膀胱・尿道）と男性性器（前立腺・精嚢腺・精管・精巣上体・精巣）副腎等の感染症・外傷・先天性疾患・結石・尿路閉塞疾患・悪性腫瘍を主に対象として診療しております。

術式・検査名 (H28)

単位：件

尿管カテーテル	4
尿管ステント留置	4
TUR-Bt	1
膀胱瘻造設	2
合 計	11

## 9. 皮膚科

皮膚科医長 田中 未知

当院皮膚科では、常勤医師1名、非常勤医師5名（水曜日午後は筑波大学医学医療系皮膚科 藤本学教授）で、午前中2診療体制をとっています。皮膚科一般診療を中心として、他に脱毛症のSADBE治療が可能です。

自費診療として、脱毛レーザー治療・ピアッシング（耳のみ）、グラッシュビスタ（まつげ美容液）の処方が可能です。

### 術式・検査 (H28)

単位：件

レーザー脱毛	29
デブリードマン（100点未満）	1
創傷処理（筋肉、臓器に達しないもの（長径5cm未満））	3
皮膚，皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径2cm未満）	2
皮膚切開術（長径10cm未満）	42
合 計	77

## 10. 眼科

眼科医長 矢部 美香子

外来にて眼科疾患全般を診ています。現在常勤医1名体制となっております。手術については白内障手術、外眼部手術、および外来網膜レーザー手術などを行っております。月曜は常勤医と筑波大非常勤医師との2診体制で診療を行っております。よりスムーズな外来に努め、できるだけ多くの手術治療が行えるよう力を注いでいきたいと考えております。

また、今後も関連病院との連携を強め、地域医療の役に立てるよう出来るだけ精進していきたいと思っています。

### 疾患および術式 (H28)

単位：件

白内障：水晶体再建術	98
麦粒腫切開術	4
霰粒摘出術	4
眼瞼腫瘍切除	3
翼状片切除術＋結膜弁移植術	3
合 計	112

## 1 1. 歯科口腔外科

歯科口腔外科部長 山崎 善純

当科は、常勤医 3 名、非常勤医 1 名の体制で診療にあたっております。  
おもに、口腔外科的疾患（埋伏智歯、外傷、嚢胞、腫瘍、顎関節症、口腔粘膜疾患、唾液腺疾患、口腔感染症、口腔乾燥症、味覚障害、摂食嚥下障害などの口腔機能障害等）を治療対象としております。ただし、有病者（障害のある方、重度の基礎疾患のある方）と当院入院中の方については、一般歯科治療も行っております。

基本的に、開業医の先生と治療疾患を競合せず、2 次医療機関（病院歯科口腔外科）での精査加療が必要と思われる方をご紹介いただき、処置後に速やかに、紹介元の先生に戻っていただく病診連携をとるよう心がけております。

手術症例の内訳は、全身麻酔例が 12 例で、局所麻酔例は 22 例です。手術症例の内訳は、下表のとおりです。

### 術式・検査 (H28)

単位：件

抜歯	13
頸部リンパ節生検	4
上顎嚢胞摘出術	2
下顎腫瘍切除	4
舌小帯切除	1
舌（悪性）部分切除	1
下顎嚢胞摘出切除	1
骨内異物除去	1
上顎正中埋伏過剰歯抜歯	3
頸部腫瘍生検	1
インプラント埋入	3
合 計	34

## 12. 耳鼻咽喉科

耳鼻咽喉科部長 伊藤 昭彦

常勤医2名と非常勤医数名で、2診体制で月曜から土曜日の午前中に外来を行っています。水曜日が手術日となっており、水曜日は非常勤医のみでの外来です。

手術は悪性腫瘍以外ほとんど対応が可能となりました。悪性腫瘍は人員の問題と放射線治療ができないので治療は行っておらず他院へ紹介となります。

### 術式・検査 (H28)

単位：件

扁桃周囲膿瘍切開術	1
鼓膜切開術	48
鼻内異物摘出術	3
鼻中隔矯正術	6
鼻甲介切除術（その他のもの）	4
咽頭異物摘出術	10
扁桃摘出術	36
副鼻腔手術	30
鼓室形成術	5
頸部手術	4
その他	154
合 計	301

### 13. 麻醉科

麻醉科部長 古謝 宏樹

術式・検査 (H28)

単位：件

<b>全身麻酔症例</b>	
外科	274
整形外科	339
口腔外科	14
脳神経外科	47
泌尿器科	4
形成外科	70
耳鼻咽喉科	61
内分泌科	30
<b>静脈麻酔症例</b>	
泌尿器科	0
整形外科	1
脳神経外科	0
<b>脊髄クモ膜下麻酔症例</b>	
泌尿器科	2
形成外科	0
整形外科	4
外科	3
<b>脊髄クモ膜下硬膜外併用麻酔症例</b>	
整形外科	0
外科	0
<b>伝達麻酔症例</b>	
整形外科	1
<b>合 計</b>	<b>850</b>

## 14. 放射線科

当科では、主にCT、MRI、マンモグラフィー、上部下部消化管透視撮影、点滴静注腎盂尿路造影、その他依頼された一般撮影の画像診断を行っております。

平成26年は骨塩定量装置が導入され、腰椎及び大腿骨での測定が可能となり、より高い精度での解析が可能となりました。

平成27年には3.0テスラ及び1.5テスラのMRI装置が導入され、世界初のデジタルコイルシステムの搭載により微小な病変の検出も可能となりました。

※撮影件数は、画像診断センターページに掲載しております。

### 【導入装置】



Ingenia3.0T CX、Ingenia1.5T CX（フィリップス エレクトロニクス社製）  
平成27年12月設置